

2020年3月期 第1四半期決算概要

株式会社プロトコーポレーション
2019年7月31日



2020年3月期 第1四半期 ハイライト

■業績ハイライト（2020年3月期 第1四半期）

売上高	14,698 百万円	－前年同期比	▲7.1%
売上総利益	5,951 百万円	－前年同期比	+0.8%
EBITDA	1,760 百万円	－前年同期比	+8.2%
営業利益	1,448 百万円	－前年同期比	+14.6%
経常利益	1,436 百万円	－前年同期比	+1.1%
四半期純利益	1,035 百万円	－前年同期比	+13.2%

グーネット（MOTOR GATE）取引社数	14,128 社	－前年同期比	+ 0.4%
グーピット有料掲載工場数	3,397 工場	－前年同期比	+15.5%
DataLine SalesGuide導入拠点数	5,462 拠点	－前年同期比	+ 9.4%

■トピックス

- ・売上高は減収（主に物品販売の減収による影響「キングスオートの減収、バイクプロスの不採算事業撤退」）
売上総利益・営業利益は増益（主に中古車・新車・整備領域の収益性改善が進む）
- ・2019年6月：MONETコンソーシアムへ加盟
- ・2019年7月：7月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施
- ・2019年7月：整備：グーピット「予約サービス」の提供開始
- ・2019年7月：新車：DataLine AI査定の提供開始
- ・2019年7月：業績予想の修正（第2四半期及び通期）
固定資産の譲渡に伴う特別利益を反映（第2四半期に特別利益約18億円の計上を見込む）
東京本社移転を決定（2019年11月予定）

2020年3月期 第1四半期 連結業績（1）

(単位：百万円)	2018年4-6月		2019年4-6月			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
売上高	15,816	100.0%	14,736	100.0%	14,698	100.0%
売上総利益	5,900	37.3%	5,808	39.4%	5,951	40.5%
EBITDA	1,626	10.3%	1,381	9.4%	1,760	12.0%
営業利益	1,263	8.0%	1,060	7.2%	1,448	9.9%
経常利益	1,421	9.0%	1,065	7.2%	1,436	9.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	914	5.8%	692	4.7%	1,035	7.0%
1株当たり四半期純利益（円）	22.80	-	17.26	-	25.82	-

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲1,118	▲7.1%	▲37	▲0.3%
50	+0.8%	142	+2.4%
133	+8.2%	378	+27.4%
184	+14.6%	388	+36.6%
15	+1.1%	370	+34.8%
120	+13.2%	343	+49.6%
3.02	+13.2%	8.56	+49.6%

※2020年3月期の計画値は、2019年5月14日公表の計画値であります。（以下同様）

※EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

※1株当たり四半期純利益については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

(単位：百万円)	2018年4-6月		2019年4-6月			
	実績 (a)	売上比	計画 (b)	売上比	実績 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	4,637	29.3%	4,748	32.2%	4,502	30.6%
人件費	1,996	12.6%	2,030	13.8%	1,917	13.0%
広告宣伝費	908	5.7%	996	6.8%	945	6.4%
その他	1,732	11.0%	1,721	11.7%	1,638	11.1%

前期対比		計対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲134	▲2.9%	▲246	▲5.2%
▲78	▲3.9%	▲112	▲5.5%
37	+4.1%	▲51	▲5.1%
▲93	▲5.4%	▲82	▲4.8%

売上高 主に、キングスオートの中古車輸出売上（物品販売）の減収、バイクブロスの事業撤退（物品販売・広告関連）による影響により減収となった

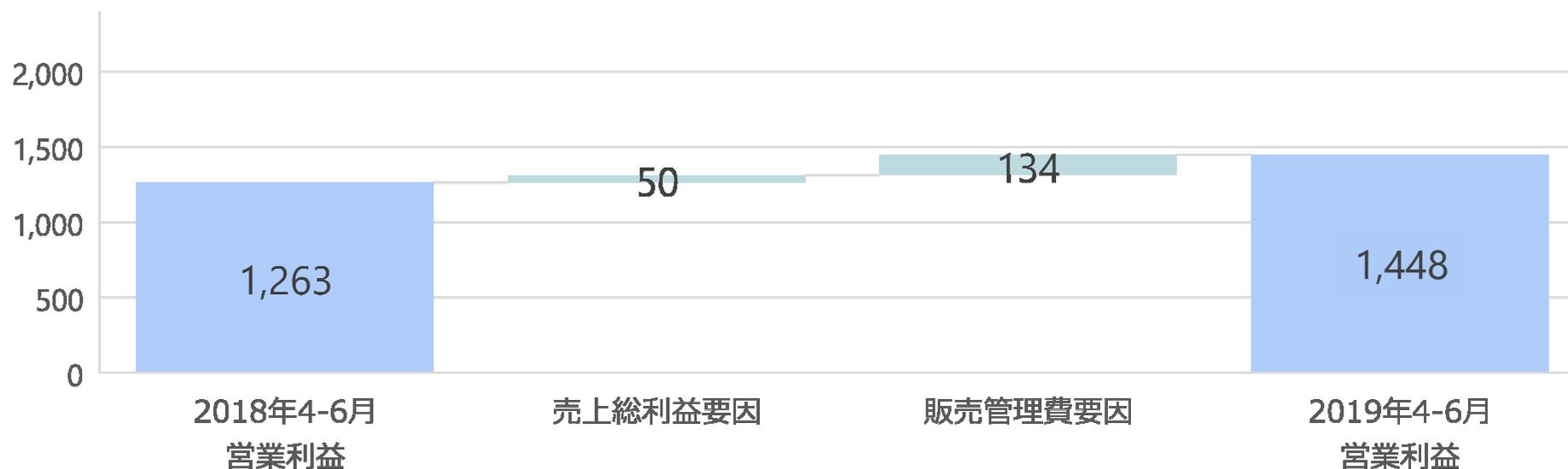
営業利益 主にプロトコーポレーションの広告関連、情報・サービスが堅調に推移したことから増益となった

2020年3月期 第1四半期 連結業績（2）

■ 営業利益増減分析

（単位：百万円）

売上総利益要因	+50	販売管理費要因	+134	営業利益増減	+184
プロトコーポレーション	+183	プロトコーポレーション	▲17	プロトコーポレーション	+169
プロトリオス	▲31	プロトリオス	+20	プロトリオス	▲10
オートウェイ	+38	オートウェイ	▲50	オートウェイ	▲12
タイヤワールド館ベスト	+15	タイヤワールド館ベスト	+29	タイヤワールド館ベスト	+44
キングスオート	▲42	キングスオート	+3	キングスオート	▲39
（バイクプロス）	▲123	（バイクプロス）	+134	（バイクプロス）	+11
		のれん償却額	+3	のれん償却額	+3
<p>主にプロトコーポレーションにおける 広告関連（MOTOR GATE・グーピット）、 情報・サービス（DataLine等）の増収・ 収益性改善が増益に寄与</p>		<p>主にバイクプロスの事業撤退による販売 管理費減少が寄与</p>		<p>主にプロトコーポレーションの収益性 改善が増益に寄与</p>	



2020年3月期 第1四半期 連結業績：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2018年4-6月		2019年4-6月			
	実績(a)	構成比	計画(b)	構成比	実績(c)	構成比
自動車関連情報	14,303	90.4%	13,254	89.9%	13,219	89.9%
広告関連	5,187	32.8%	5,192	35.2%	5,161	35.1%
情報・サービス	1,255	7.9%	1,212	8.2%	1,259	8.6%
物品販売	7,860	49.7%	6,849	46.5%	6,798	46.3%
生活関連情報	1,085	6.9%	1,048	7.1%	1,044	7.1%
不動産	48	0.3%	43	0.3%	46	0.3%
その他	379	2.4%	389	2.6%	388	2.6%
合計	15,816	100.0%	14,736	100.0%	14,698	100.0%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
▲1,083	▲7.6%	▲35	▲0.3%
▲26	▲0.5%	▲31	▲0.6%
4	+0.4%	47	+3.9%
▲1,061	▲13.5%	▲50	▲0.7%
▲41	▲3.8%	▲4	▲0.4%
▲2	▲5.4%	2	+6.7%
8	+2.2%	▲1	▲0.3%
▲1,118	▲7.1%	▲37	▲0.3%

営業利益 (単位：百万円)	2018年4-6月		2019年4-6月			
	実績(a)	利益率	計画(b)	利益率	実績(c)	利益率
自動車関連情報	1,554	10.9%	1,482	11.2%	1,793	13.6%
生活関連情報	71	6.6%	27	2.6%	51	4.9%
不動産	48	100.3%	23	54.0%	47	102.3%
その他	11	3.0%	3	1.0%	14	3.7%
管理部門	▲422	-	▲476	-	▲457	-
合計	1,263	8.0%	1,060	7.2%	1,448	9.9%

前期対比		計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
238	+15.4%	311	+21.0%
▲19	▲28.0%	24	+89.3%
▲1	▲3.5%	23	+102.2%
3	+27.1%	10	+279.6%
▲35	-	18	-
184	+14.6%	388	+36.6%

自動車関連情報

減収増益：主に物品販売の減収による影響。DataLine SalesGuide・MOTORGATE・グーピットの増収効果により増益

広告関連

主な減収要因は、バイクブロス（出版事業）の事業撤退による影響。MOTOR GATE利用料・グーピットは引き続き増収。

情報・サービス

主な増収要因は、DataLine SalesGuideが堅調に推移。

物品販売

主な減収要因は、キングスオートの中古車輸出の減少と、バイクブロス（EC事業）の事業撤退による影響。

生活関連情報

減収減益：主にリユース事業の事業譲渡（2019年2月）による影響。

2020年3月期 第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2019年3月期 期末		2020年3月期 第1四半期末		増減	
	実績(b)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	27,088	61.7%	25,749	58.9%	▲1,338	95.1%
固定資産	16,791	38.3%	18,001	41.1%	1,210	107.2%
流動負債	14,035	32.0%	13,505	30.9%	▲530	96.2%
固定負債	1,814	4.1%	1,721	3.9%	▲92	94.9%
純資産	28,029	63.9%	28,524	65.2%	494	101.8%
総資産	43,879	100.0%	43,751	100.0%	▲128	99.7%

(単位：百万円)	2019年3月期 期末		2020年3月期 第1四半期末		増減	
	実績(b)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	15,747	35.9%	14,793	33.8%	▲954	93.9%
有利子負債	6,800	15.5%	6,330	14.5%	▲469	93.1%
ネットキャッシュ	8,947	20.4%	8,462	19.3%	▲484	94.6%

流動資産 主な減少要因は、現金及び預金が954百万円減少、受取手形及び売掛金が411百万円減少したため

固定資産 主な増加要因は、プロトベンチャーズにおける出資金の増加によるもの

流動負債 主な減少要因は、短期借入金が360百万円減少したため（一年内返済長期借入金含む）

固定負債 主な減少要因は、長期借入金が108百万円減少したため

2020年3月期 第1四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2018年4-6月	2019年4-6月	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,304	1,180	▲123
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲315	▲1,154	▲839
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,481	▲979	501
現金及び現金同等物の期末残高	15,242	14,402	▲839

(単位：百万円)	2018年4-6月	2019年4-6月	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	330	435	105
減価償却費	252	204	▲48
のれん償却額	110	107	▲3

営業活動による キャッシュ・フロー

主に税金等調整前四半期純利益1,436百万円、支出を伴わない減価償却費、のれん償却額の合計が311百万円発生したことなどから、1,180百万円の収入となった。

投資活動による キャッシュ・フロー

主に出資金の支払い、投資有価証券の取得による支出が840百万円発生したことなどから、1,154百万円の支出となった。

財務活動による キャッシュ・フロー

主に借入金の返済が469百万円、配当金の支払が492百万円発生したことなどから、979百万円の支出となった。

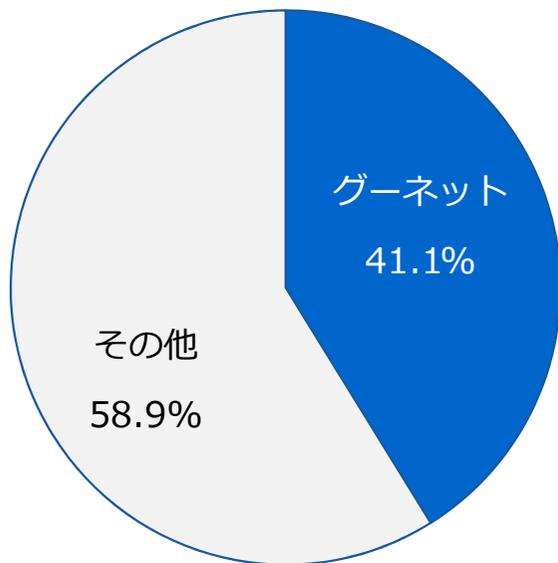
中古車領域（グーネット「MOTOR GATE」取引社数）

グーネット（MOTOR GATE）取引社数

(単位：社)

20,000

対象マーケット数
(34,335社)
当社調べ



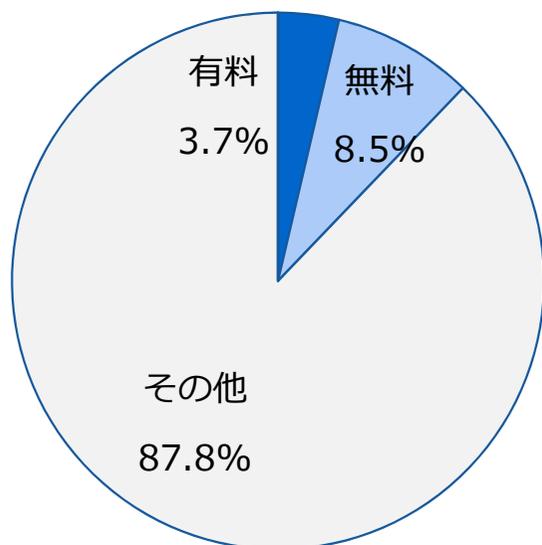
グーネット取引社数について、前年同期対比+0.4%

整備領域（ゲーピット有料掲載工場数）

ゲーピット取引社数

対象マーケット数
(92,044工場)

出所：国土交通省



(単位：工場)



ゲーピット有料掲載工場数は、前年同期対比+15.5%
2019年7月より「ゲーピット スマート予約」をサービスイン

新車領域（DataLine SalesGuide導入拠点数）

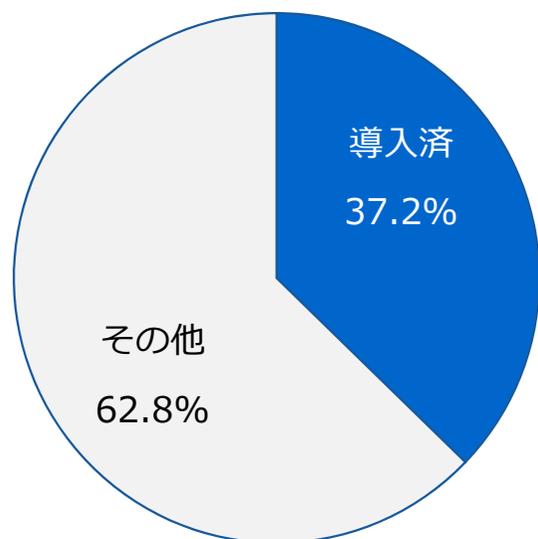
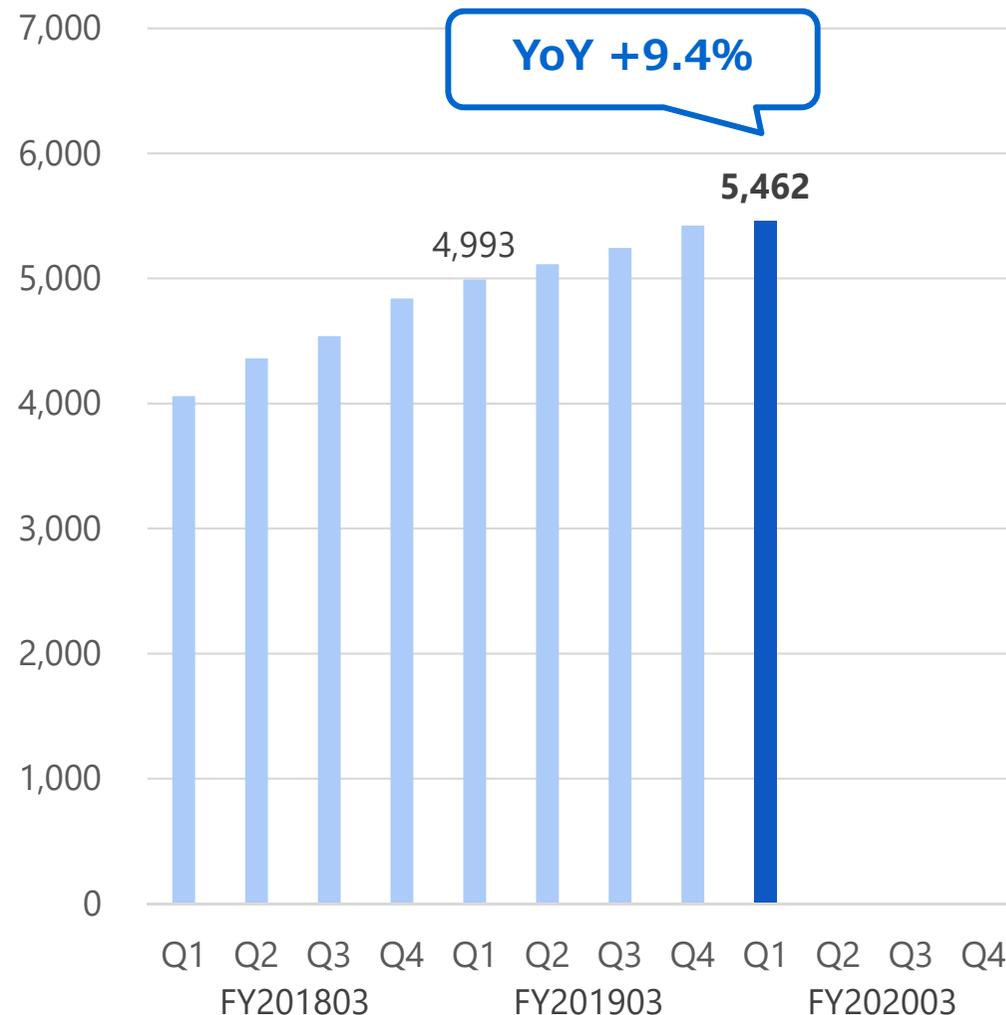
DataLine SalesGuide導入拠点数

(単位：拠点)

対象マーケット数
(14,670拠点)

出所
日本自動車販売協会連合会

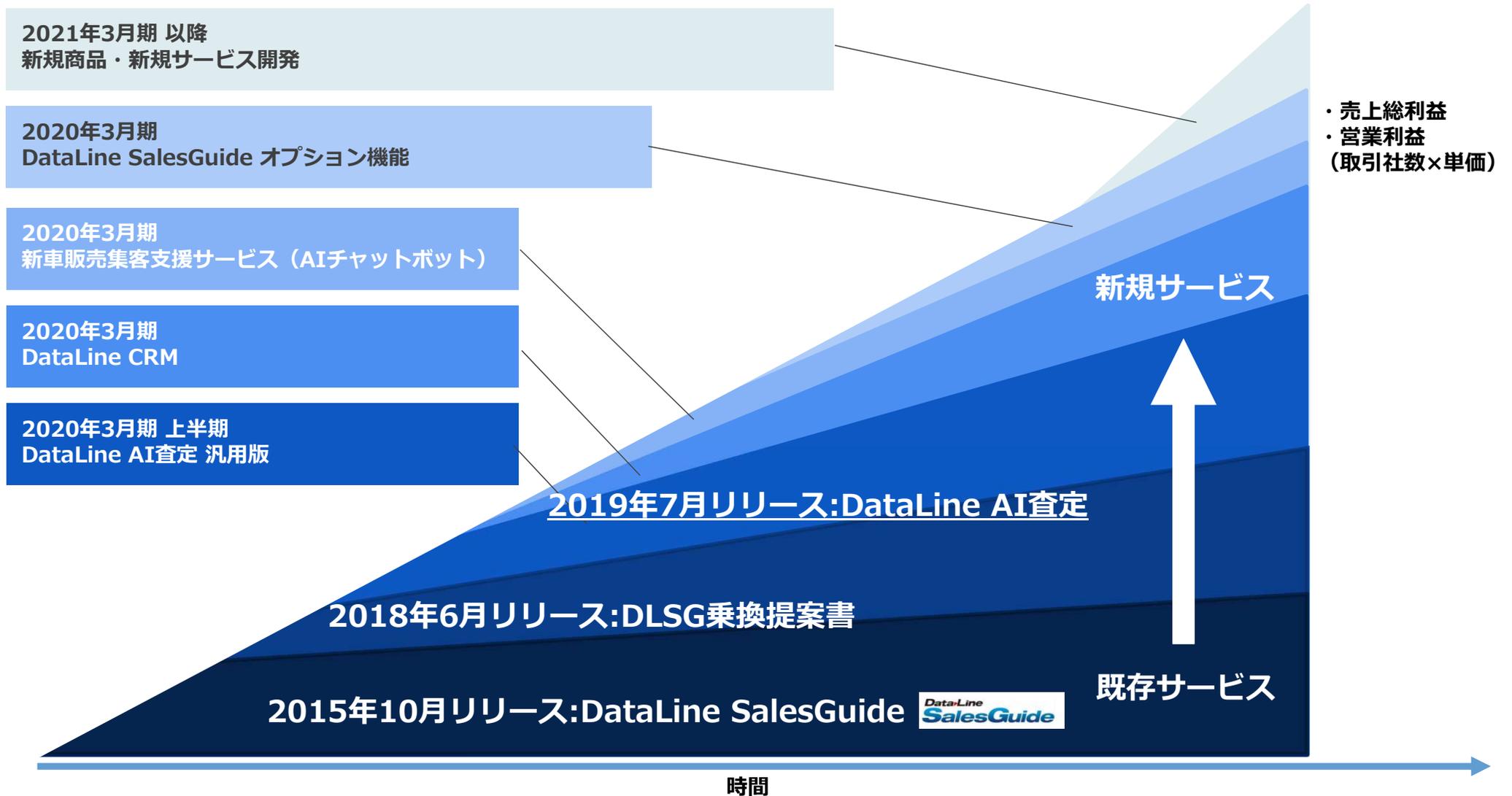
DataLine
SalesGuide



DataLine SalesGuide導入拠点数は、前年同期対比+9.4%
オプション機能（乗換提案書）の導入拠点数は、1,043拠点

TOPICS

新車領域（成長戦略）



データベースを活用し、新車ディーラーの顧客接点強化、生産性向上に関する課題を解決する

新車領域 (DataLine AI査定)

■ DataLine AI査定 : 2019年7月サービスイン

1 査定 詳細入力

車検証 QR コードを読み込み、同時に車検証情報の反映とグレード選定が完了。装備の選択や機関周りの確認、外装状態などはすべて指先一つで簡単操作。直感操作でスピーディに査定業務を完了。スマートフォンやタブレット、PC、通称環境があればいつでもどこでも使用可能な Web サービス。

AI査定価格 **2**

査定情報に基づき、弊社独自の AI 査定価格を表示。人工知能 (AI) を用いてビッグデータを学習 (ディープラーニング) させることで、精度の高い価格を導き出す。流通トレンドを的確に捉え、価格は日々更新で反映。

4 商談 価格回答

3 価格承認

査定業務が大幅短縮!

- 卓越した操作性による査定時間の短縮
- AI 査定価格によるプライシングサポートで収益構造を改革
- 商談時間の短縮による顧客満足の向上

承認された査定価格がすぐさま反映。お客様をお待たせすることなくそのまま商談へ。査定データは 24ヶ月間保存されるので再査定もスムーズ。また弊社商談ツール DataLineSalesGuide (オプション) にも連携、成約率や発注発生率を高める提案営業のマスターツールもご用意。

AI査定価格を参考に最終プライシング。最適なプライシング業務を大幅短縮。AA会場の取札結果 (取札価格) などが確認できる DataLinePRO (オプション) を活用し最終承認。効率的なプライシング環境がここに。

下取車査定プロセスにおけるAI活用

- ・ 査定プロセスのスピード、正確性、コストの改善
- ・ AI Price Forecastによる中古車査定価格の自動算定
- ・ 下取車販売時の粗利・リードタイム最適化
- ・ 下取車販売時の販売チャネルの自動選定



顧客接点の強化・生産性の向上を実現

下取車査定プロセスを改善する「DataLine AI査定」をサービスイン

整備領域（グーピット予約サービス）

■グーピット スマート予約 2019年7月サービスイン



The screenshot shows the GoPitt website's smart reservation page. At the top, there's a navigation bar with the GoPitt logo and various service categories like '車検・オイル交換・キズ・ヘコミ' and 'クルマのことならグーピット(GoP)'. Below the navigation, there's a main banner with the text 'スケジュール・予算に合ったお店が探せる' and 'グーピットでスマート予約'. Two buttons are visible: '作業メニューから探す' and '地図から店舗を探す'. Below the banner, there's a section titled 'スマート予約は 3つのポイント' (Smart reservation has 3 points). The first point is '1 価格表示がされているから、あんしんしてお店を探せる!' (Because prices are displayed, you can search for shops with peace of mind!). Below this point, there's a small illustration of a car in a garage with a price tag of ¥2,000. The text explains that car repair costs can be unpredictable, but with smart reservations, users can see prices in advance, making the process more transparent and less stressful.

整備工場の予約サービス

- ・パーツ持込み取付（タイヤ・ドライブレコーダー等）
- ・整備・修理・板金・塗装
- ・オイル交換
- ・車検・点検



カーユーザーの困りごとを
近所の整備工場とのマッチングにより解決

グーピット有料加盟工場を対象として、予約サービスの提供を開始
ユーザーと整備工場のマッチングを推進

2020年3月期 通期業績予想の修正

2020年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	売上比	期初計画 (b)	売上比	修正計画 (c)	売上比
売上高	62,251	100.0%	62,431	100.0%	62,431	100.0%
売上総利益	23,832	38.3%	24,689	39.5%	24,689	39.5%
EBITDA	5,920	9.5%	6,255	10.0%	6,255	10.0%
営業利益	4,565	7.3%	4,916	7.9%	4,916	7.9%
経常利益	5,004	8.0%	4,942	7.9%	4,942	7.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,159	5.1%	3,274	5.2%	4,512	7.2%
1株当たり当期純利益 (円)	78.75	-	81.61	-	112.49	-

※ EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

※ 1株当たり当期純利益については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割 (1:2) の影響を考慮しております。

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
179	+0.3%	0	0.0%
856	+3.6%	0	0.0%
335	+5.7%	0	0.0%
350	+7.7%	0	0.0%
▲62	▲1.2%	0	0.0%
1,353	+42.8%	1,238	+37.8%
33.74	+42.8%	30.88	+37.8%

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	売上比	期初計画 (b)	売上比	修正計画 (c)	売上比
販売費及び一般管理費	19,267	31.0%	19,773	31.7%	19,773	31.7%
人件費	7,871	12.6%	8,176	13.1%	8,176	13.1%
広告宣伝費	4,486	7.2%	4,660	7.5%	4,660	7.5%
その他	6,909	11.1%	6,935	11.1%	6,935	11.1%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
505	+2.6%	0	0.0%
305	+3.9%	0	0.0%
173	+3.9%	0	0.0%
26	+0.4%	0	0.0%

事業計画修正の主な要因

売上高 変更はありません

売上総利益 変更はありません

営業利益 変更はありません

当期純利益 主な増加要因は、東京本社の移転（2019年11月予定）に伴い、第2四半期に固定資産の譲渡に伴う特別利益（約18億円）の計上を見込んでおります。

2019年3月期 連結業績予想：セグメント別

売上高 (単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	構成比	期初計画 (b)	構成比	修正計画 (c)	構成比
自動車関連情報	56,167	90.2%	56,293	90.2%	56,293	90.2%
広告関連	21,278	34.2%	21,639	34.7%	21,639	34.7%
情報・サービス	5,041	8.1%	5,074	8.1%	5,074	8.1%
物品販売	29,847	47.9%	29,579	47.4%	29,579	47.4%
生活関連情報	4,335	7.0%	4,331	6.9%	4,331	6.9%
不動産	195	0.3%	137	0.2%	137	0.2%
その他	1,553	2.5%	1,668	2.7%	1,668	2.7%
合計	62,251	100.0%	62,431	100.0%	62,431	100.0%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
125	+0.2%	0	0.0%
361	+1.7%	0	0.0%
32	+0.7%	0	0.0%
▲268	▲0.9%	0	0.0%
▲3	▲0.1%	0	0.0%
▲57	▲29.5%	0	0.0%
115	+7.4%	0	0.0%
179	+0.3%	0	0.0%

営業利益 (単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期			
	実績 (a)	利益率	期初計画 (b)	利益率	修正計画 (c)	利益率
自動車関連情報	5,758	10.3%	6,524	11.6%	6,524	11.6%
生活関連情報	249	5.8%	138	3.2%	138	3.2%
不動産	193	99.0%	34	24.9%	34	24.9%
その他	57	3.7%	36	2.2%	36	2.2%
管理部門	▲1,693	-	▲1,817	-	▲1,817	-
合計	4,565	7.3%	4,916	7.9%	4,916	7.9%

前期対比		期初計画対比	
(c)-(a)	%	(c)-(b)	%
765	+13.3%	0	0.0%
▲111	▲44.6%	0	0.0%
▲158	▲82.2%	0	0.0%
▲21	▲36.8%	0	0.0%
▲123	-	0	0.0%
350	+7.7%	0	0.0%

Appendix

中期3ヶ年事業計画（経営指標）

■ 重要な経営指標について

売上総利益・営業利益の成長とともに、ROE・EPSを重要な経営指標と位置付けています。

■ 経営指標

	2016年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)
ROE	▲1.5%	11.7%	12.0%以上
EPS (1株当たり当期純利益)	▲9.64円	78.75円	100.00円
売上総利益※	212億円	238億円	CAGR (年平均成長率) 6.4%
営業利益	40.7億円	45.6億円	CAGR (年平均成長率) 9.4%

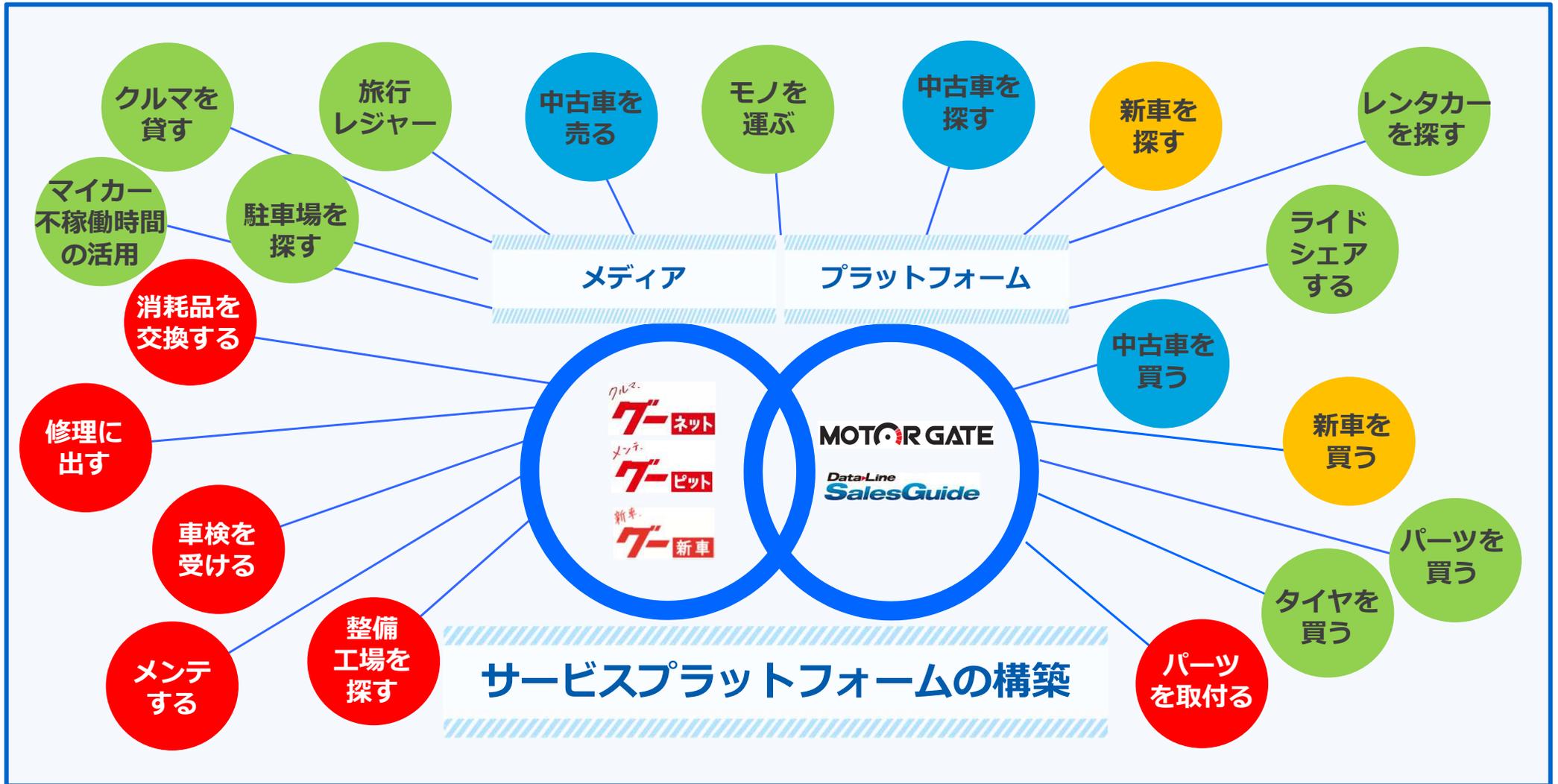
※ 将来的な「収益認識に関する会計基準」の適用を見込み、重要な経営指標について従来の売上高から売上総利益に変更しております。

※ EPS(1株当たり当期純利益)については、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割（1:2）の影響を考慮しております。

中期3ヶ年計画において、ROE12%以上の達成を目指す

ビジョン「サービスプラットフォームの構築」

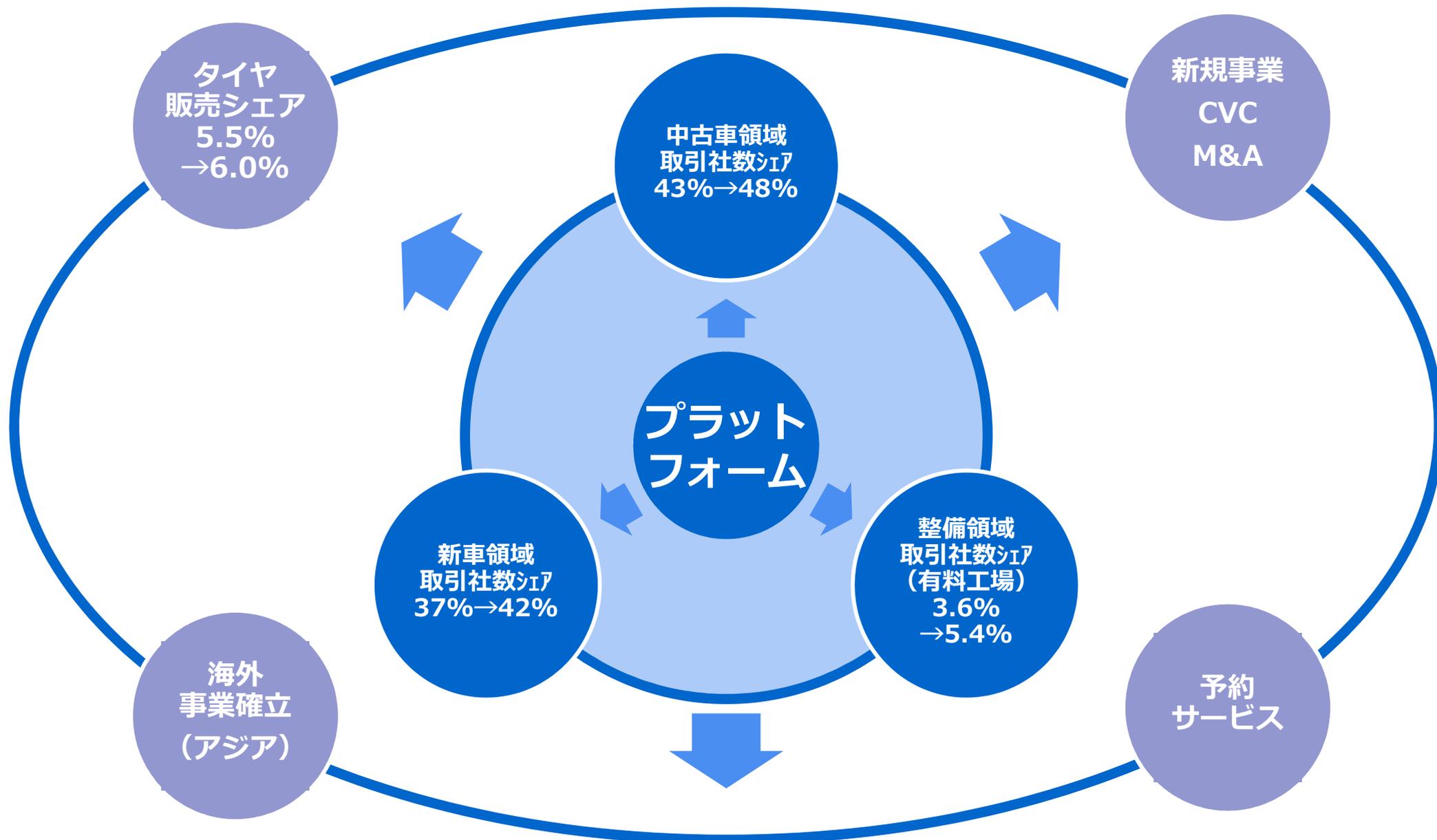
カーライフのトータルサポートの実現



自動車関連情報サービス事業 国内No.1になる!!
(メディアからサービスプラットフォームへ)

ビジョン「サービスプラットフォームの構築」

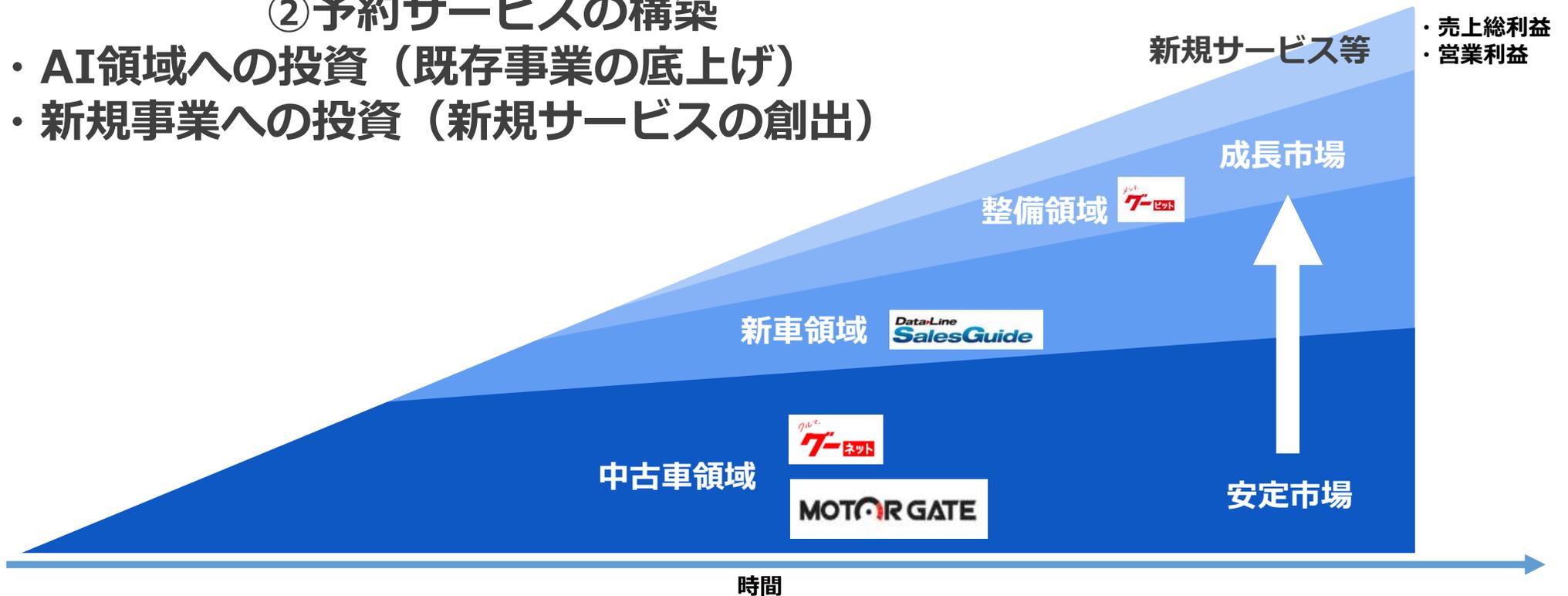
Goo Life Time Value (成長戦略)



中長期的な成長戦略

■ 重点項目

- ・ 新車領域：利益創出の柱にする
- ・ 中古車領域：製造原価・販管費の見直し
- ・ 整備領域：① 広告事業の事業基盤拡大
② 予約サービスの構築
- ・ AI領域への投資（既存事業の底上げ）
- ・ 新規事業への投資（新規サービスの創出）



中長期的な成長市場へ経営資源を投入し、持続的な企業価値の向上を図る

会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション		
創業	1977年10月1日		
設立	1979年6月1日		
資本金	1,824,620,000円（2019年6月30日現在）		
発行済株式総数	41,880,000株（2019年7月1日現在）		
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目22番2号		
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本 (全国56拠点)		
事業年度末	3月31日		
社員数	連結：1,479名（2019年6月30日現在） 単体：592名（2019年6月30日現在）		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
連結子会社	1.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	2.株式会社タイヤワールド館ベスト	【2015年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	3.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	4.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	6.株式会社カーブリックス	【2017年 5月設立】	(議決権所有割合：間接 66%)
	7.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	8.株式会社丸富士	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	9.株式会社シルバーはあと	【2016年 1月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	10.株式会社プロトソリューション	【2007年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	11.株式会社沖縄コールスタッフサービス	【2017年10月子会社化】	(議決権所有割合：間接 100%)
	12.株式会社プロトベンチャーズ	【2019年 4月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	13.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.	【2011年 9月子会社化】	(議決権所有割合：直接 100%)
	14.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	(議決権所有割合：直接 100%)
	15.CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.	【2018年12月設立】	(議決権所有割合：間接 49%)
	16.CAR CREDO MALAYSIA SDN. BHD. (清算手続き中)	【2015年 8月設立】	(議決権所有割合：間接 100%)
	(2019年7月31日現在)		

会社概要

連結主要データ

発行済株式総数(百万株)	※2019年7月1日現在	41.8
時価総額(億円)	※2019年6月末	423.8
1株当たり年間配当(円)	※2020年3月期予定	27.5
1株当たり当期純利益(円)	※2020年3月期予定	78.75
1株当たり純資産(円)	※2019年3月期実績	697.84
ROE(%)当期純利益ベース	※2019年3月期実績	11.7
ROA(%)経常利益ベース	※2019年3月期実績	11.3
自己資本比率(%)	※2019年3月期実績	63.8
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2019年6月末	28.66

大株主(上位10名)

	(千株)
1) 株式会社夢現	6,807 (32.50%)
2) JPLLC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT	1,323 (6.31%)
3) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,303 (6.22%)
4) 株式会社プロトコーポレーション	881 (4.20%)
5) JP MORGAN CHASE BANK 385632	568 (2.71%)
6) BNYM NON-TREATY DTT	551 (2.63%)
7) CLEARSTREAM BANKING S.A	513 (2.45%)
8) 横山博一	440 (2.10%)
9) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	395 (1.88%)
10) 横山順弘	365 (1.74%)

※ DPS, EPS, BPSについては、2019年7月1日を効力発生日とする株式分割(1:2)の影響を考慮しております。

(2019年6月30日現在)

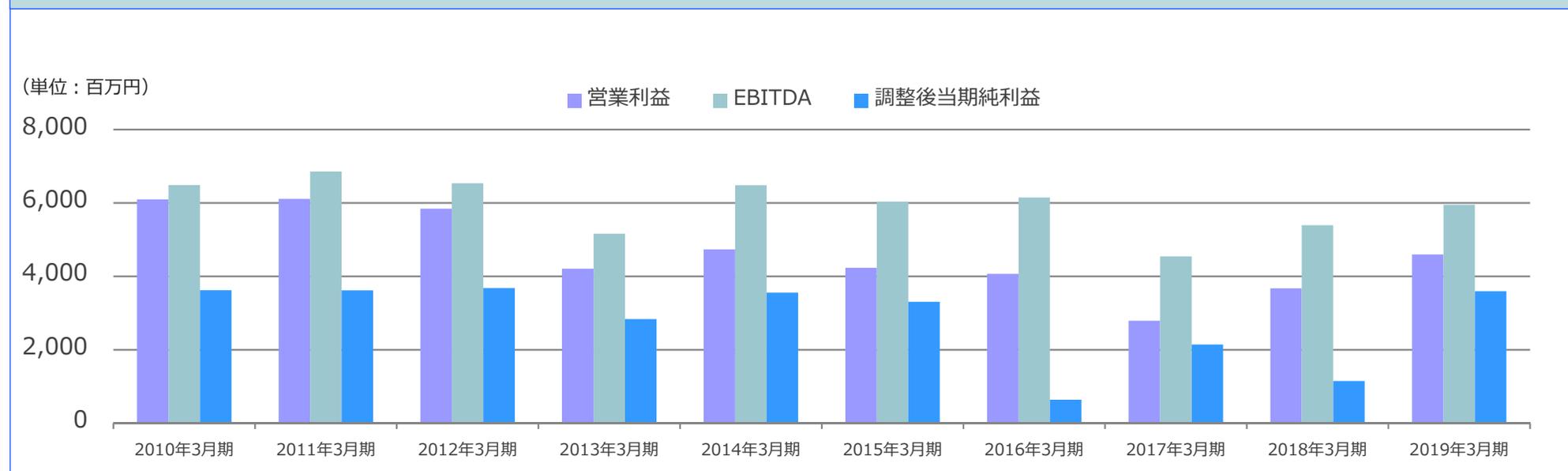
連結業績実績（10年推移）

(単位：百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251
営業利益	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565
当期純利益	3,529	3,197	3,275	2,290	2,627	2,381	▲ 390	1,506	519	3,159
EBITDA * 1	6,490	6,856	6,540	5,161	6,483	6,039	6,149	4,547	5,396	5,920
調整後当期純利益 * 2	3,621	3,620	3,680	2,836	3,555	3,308	641	2,145	1,151	3,596
減価償却費	299	322	288	404	819	879	1,046	1,113	1,089	916
のれん償却額	91	422	405	546	928	926	1,032	638	632	437

*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



連結業績 セグメント別（10年推移）

セグメント別売上高 (単位：百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
自動車関連情報	22,858	25,566	26,704	33,687	50,138	44,056	49,486	51,025	56,100	56,167
広告関連	19,511	20,558	20,579	21,163	21,412	21,593	21,006	21,231	21,618	21,278
情報・サービス	2,818	3,083	3,312	3,749	4,464	4,546	5,087	4,893	5,053	5,041
物品販売	528	1,923	2,813	8,774	24,262	17,915	23,392	24,899	29,429	29,847
生活関連情報	2,286	2,616	3,470	3,837	3,541	3,393	3,466	4,236	4,370	4,335
不動産	205	181	166	163	167	164	162	187	213	195
その他	332	415	240	597	913	988	1,182	1,268	1,426	1,553
合計	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	48,602	54,297	56,717	62,111	62,251

セグメント別営業利益 (単位：百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
自動車関連情報	7,590	7,281	7,272	5,916	6,217	5,624	5,277	3,939	4,933	5,758
生活関連情報	162	301	228	131	248	338	307	478	370	249
不動産	105	104	83	85	69	96	109	147	170	193
その他	▲ 35	▲ 91	▲ 149	▲ 323	▲ 140	▲ 94	▲ 66	▲ 136	▲ 71	57
管理部門	▲ 1,725	▲ 1,484	▲ 1,589	▲ 1,599	▲ 1,659	▲ 1,732	▲ 1,554	▲ 1,633	▲ 1,728	▲ 1,693
合計	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	4,233	4,071	2,795	3,674	4,565

セグメント詳細

セグメント詳細

■自動車関連情報

■広告関連



中古車 グーネット等のデータ登録料（MOTOR GATE利用料,グー買取等）

中古車 広告掲載料（WEB・情報誌等）、情報誌本売上

整備 グーピットへのデータ登録料

■情報・サービス



新車 プロトコーポレーション（DataLine SalesGuide、DataLine等）

中古車 プロトコーポレーション（グー鑑定、グー保証）

整備 プロトコーポレーション（グー車検）

整備 プロトリオス（整備・钣金システム販売）

■物品販売



オートウェイ・タイヤワールド館ベスト（EC:タイヤ・ホイール）

キングスオート（中古車輸出）

プロトコーポレーション（EC:物品販売）

■広告関連

主にMOTOR GATE月額利用料とグーネットによる広告収入が占める。

■情報・サービス

主に新車ディーラー向けのDataLine月額利用料、整備钣金システム売上が占める。

■物品販売

主にタイヤ・ホイールのEC販売、中古車輸出が占める。

■生活関連情報



プロトメディカルケア（広告売上・福祉用具レンタル売上等）

プロトコーポレーション（カルチャー情報等）

主に介護・福祉関連の広告収入と福祉用具レンタル売上が占める

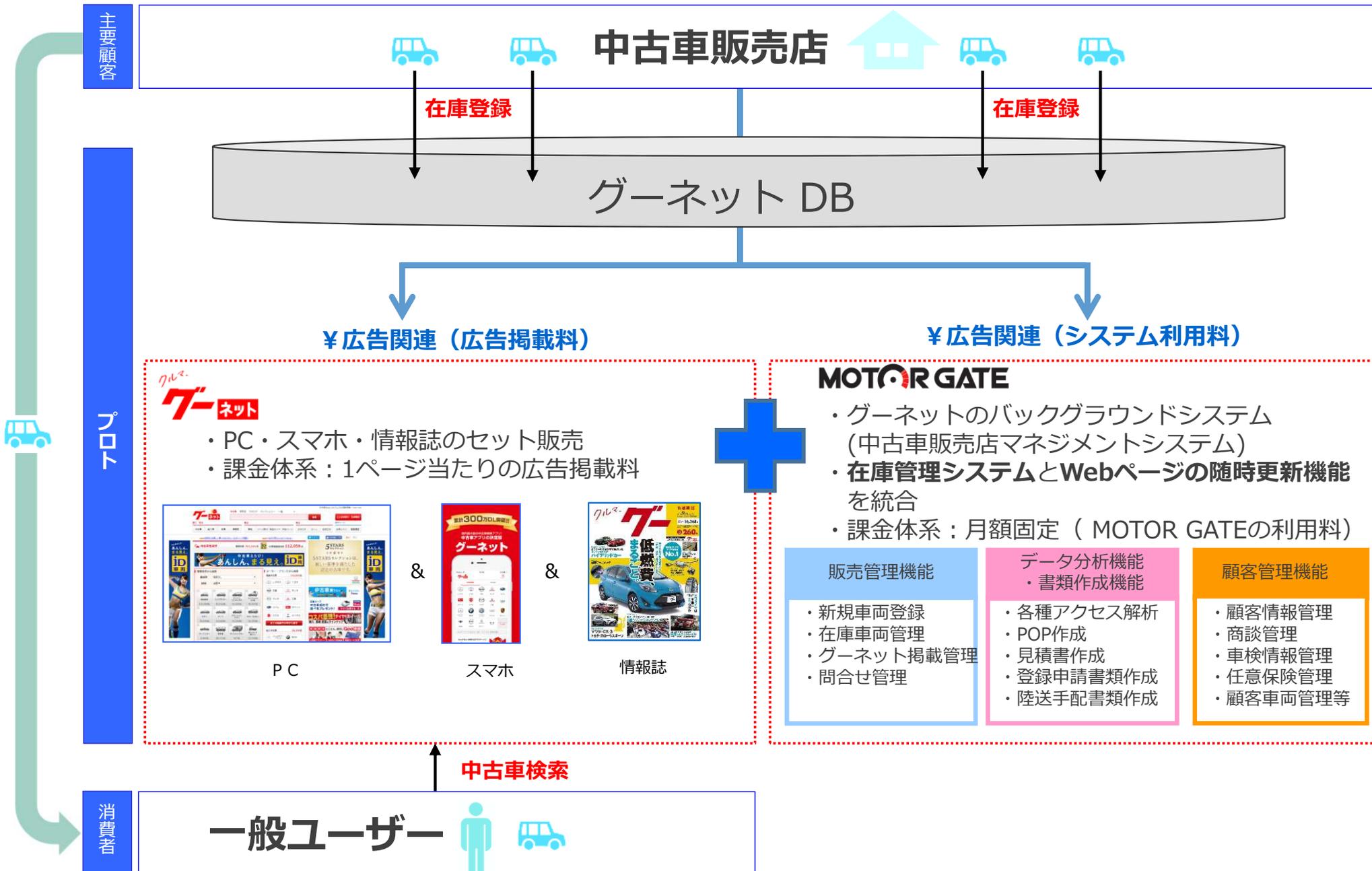
■**不動産** プロトコーポレーション（不動産賃貸収入）

主に自社ビルの非稼働フロアの賃貸収入が占める

■**その他** プロトソリューション（BPO事業、ソフトウェア開発等）
 沖縄コールスタッフサービス（人材派遣等）
 オートウェイ（太陽光発電）
 プロトコーポレーション（農業事業）
 プロトベンチャーズ（投資事業）

主にBPO事業の売上が占める

中古車領域：グーネット・MOTOR GATEのビジネスモデル



中古車領域：グー鑑定ビジネスモデル

主要顧客



中古車販売店



↓
¥ 鑑定料

- ・ 課金体系：1台あたり課金
- ・ 2008年10月より全国展開開始



グー鑑定の概要と図解（一例）



グー鑑定 3つのポイント

- ① 第三者機関の日本自動車鑑定協会（JAAA）の基準に基づき中古車を鑑定
- ② 外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を実施
- ③ 鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定め、情報を開示



プロト（検査子会社）カクレレド

↑ 中古車検索

消費者

一般ユーザー



中古車領域：中古車の車両状態情報の開示

■ 競合メディアとの差別化：車両状態情報開示を通じた成約率の向上



※参考 競合メディアの車両状態情報開示 47,914台

(2019年7月25日 時点)

ユーザーが抱く中古車への不安を払拭し
より安心して中古車を購入できる環境をつくる

新車領域 : DataLine SalesGuide

主要顧客



新車ディーラー



¥サービス利用料

DataLine SalesGuide

- 課金体系：月額固定
- ユーザーとの商談の際に現在価値と将来価値の概算を提示し、乗換促進を実現する



コスト比較提案機能



将来価格予測グラフ機能



プロト

乗り換えPOP機能



乗り換えシミュレーション機能



消費者

自動車ユーザー



※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

◆将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。

これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

◆本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経営戦略室 高林

Tel : 052-934-1519

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp